図書だより

ぎふ国際高等学校
2025 年 9･10月 No.3

9 月 15 日は、敬老の日

長い夏休みが明け、あっという間に単位認定試験も終わりました。9 月は登校日が少ないですが、10 月から始まる後期に向けて生活リズムや学習習慣を徐々に取り戻していきましょう！

今月は、祝日が 2 日あります。見出しにもあるように、9 月 15 日「敬老の日」、9 月 23 日「秋分の日」です。今回の図書だよりでは、敬老の日について紹介します。敬老の日とは、「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う日」です。みなさんが今こうして便利な生活ができているのも、先人の教えを受け継いできた人たちや発明したものを発展させてきた人たちがいるからです。みなさんの周りにいるお年寄りの方もその中の 1 人です。ぜひ、敬老の日をきっかけに感謝の言葉を伝えてみましょう！

さて、今回は敬老の日にちなみ、おじいちゃんやおばあちゃんが登場する物語を2つ紹介します。どちらの本も図書室にもあるので、ぜひ読んでみてくださいね！

① 三匹のおっさん / 有川 浩

2014 年にドラマ化もしている作品。剣道の達人のキヨ、柔道家で居酒屋を経営しているシゲ、機械いじりが得意なノリの 3 人の幼馴染のおじさんたちの物語。3人のおじさんが暮らす町で物騒な事件が増え始めたことをきっかけに、おじさんたちは町内巡回を始める。町の安全を守るために、事件の現場に遭遇したおじさんたちが奮闘し、次々に悪を成敗していく。その裏では、キヨの孫の祐希とノリの娘の早苗が出会い、恋愛に発展していく。クスッと笑える痛快なお話。

② 佐賀のがばいばあちゃん / 島田 洋七

「がばい」とは、佐賀の言葉で「すごい」という意味。戦後の広島で母と暮らす昭広。当時、小学2年生の時におばさんに連れられ、突然母と離れて佐賀に暮らすおばあちゃんの家で暮らすことになる。これは、母が昭広の将来のことを考えた結果の苦肉の策だった。突然の母との別れを受け入れ、広島と佐賀の暮らしの違いや貧富の差に戸惑いつつも、おばあちゃんの知恵を借りながら精いっぱい生きる昭広。「本当の幸せって何だろう？」と考えさせられるお話。

お知らせ

・貸し出し記録のない本が行方不明になっています。本を借りる時には、必ず貸し出しカードを記入してください。（図書室に記入例があります。）

・10 月 25 日（土）の学校祭で、図書室に展示をします。ぜひ、見に来てください!!